

木住協耐震診断プログラム 2012 変更点

2014 年 5 月 20 日

株式会社日本システム設計

木住協耐震診断プログラム 2012 の変更点を下記に示します。

【変更点一覧】

変更 番号	概要	内容	プログラムの計算への影響
変更 1	印刷不具合の修正	精密診断法 1 の診断表中「2.各部の構造」の表示において、罫線の描写が重なって表示されることがあるため修正する。	影響しない
変更 2	印刷不具合の修正	一般診断法において、地形の形状で「平坦・普通」を選択している場合、診断表中「総合評価-地形」において「がけ地・急斜面」の欄に丸印が表示されることがあるため修正する。	影響しない

変更 1

精密診断法 1 の診断表中「2.各部の構造」の表示において、罫線の描写が重なって表示されることがあるため修正する。

【修正する内容】

2. 各部の構造 (外壁・軸組(筋違等)を除く)

(1)屋根材料		軽い建物(化粧スレート板、鉄板葺)		
(2)屋根形状	3階	-		
	2階	切妻屋根(棟Y方向)		
	1階	切妻屋根(棟Y方向)		
(3)屋根勾配	3階	-		
	2階	3.00寸		
	1階	0.00寸		
(4)軒の出 ケラバの出	3階	軒の出	-	
		ケラバの出	-	
	2階	軒の出	100.00mm	
		ケラバの出	100.00mm	
	1階	軒の出	300.00mm	
		ケラバの出	300.00mm	
(5)基礎の形式		鉄筋コンクリート基礎(健全) I		
		無筋コンクリート基礎(健全) II		
(6)筋かい接合部の仕様	仕様1	規定の仕様	許容値	0.0倍
(7)柱接合部仕様「接合部I~IV」	仕様1	接合部I		
	仕様2	接合部IV		
(8)床下地の仕様	仕様1	吹き抜け	床倍率	0.00

精密診断法 1 の診断表中「2.各部の構造」の表示において、罫線の描写が重なって表示されることがあるため修正する。

3. 地盤・構造計画				
(1)地盤の状況				よい・普通
(2)地形				平坦・普通
(3)基礎の破損・亀裂など				損傷は特になし
(4)水平構面の状態				火打ちなし
(5)独立柱の有無				なし
(6)横架材接合部の仕様				かすがい
(7)屋根葺き材の仕様				化粧スレート板
4. 各種の係数				
(1)地域係数Z		1.00		
(2)地盤種別(法令)		2種		
(3)積雪区分	一般地域	多雪区域の場合の積雪深		-

変更 2

一般診断法において、地形の形状で「平坦・普通」を選択している場合、診断表中「総合評価-地形」において「がけ地・急斜面」の欄に丸印が表示されることがあるため修正する。

【修正する内容】

耐震診断依頼者		様
総合評価		
【地盤】		
地盤	対策	記入欄(○印) 注意事項
よい・普通		○
悪い		
非常に悪い (埋立地、盛土、軟弱地盤)	敷地の地盤改良を行っている 杭基礎である 特別な対策を行っていない	
特になし		
【地形】		
地形	対策	記入欄(○印) 注意事項
平坦・普通		○
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁 石積み 特別な対策を行っていない	
特になし		
【基礎】		
基礎	状態	記入欄(○印) 注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全 ひび割れが生じている	
無筋コンクリート基礎	健全 種々なひび割れが生じている ひび割れが生じている	○
玉石基礎	足固めあり 足固めなし	
その他(ブロック基礎等)		
特になし		
【上部構造】		
上部構造評点のうち最小の値	評点 1.5以上:損壊しない 1.0~1.5未満:一部損壊しない 0.7~1.0未満:損壊する可能性がある 0.7未満:損壊する可能性が高い	
0.41		損壊する可能性が高い
【その他の注意事項】		
特になし		
診断者	竹田	講習会
所属	(株)日本システム設計	講習終了番号
連絡先	03-3688-0618	TEL: 03-3688-0618

一般診断法診断表中「診断表中「総合評価-地形」

【地形】		
地形	対策	記入欄(○印)
平坦・普通		
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁	○
	石積み	
	特別な対策を行っていない	

一般診断法において、地形の形状で「平坦・普通」を選択している場合、診断表中「総合評価-地形」において「がけ地・急斜面」の欄に丸印が表示されることがあるため修正する。